

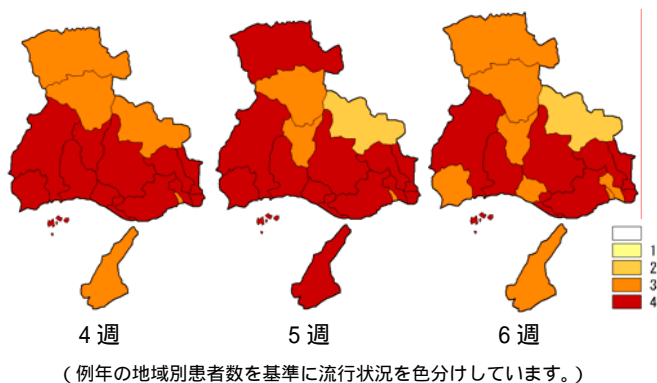
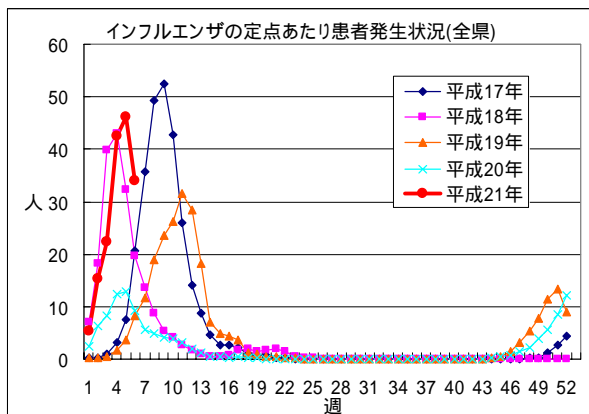
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

今週は定点あたりの患者数が **33.98 人** (先週 46.20 人) と先週より減少しましたが、県内 17 の保健所管内のうち 10 の保健所管内で警報基準である定点あたり患者数 30.00 人を超えており、今後も注意が必要です。

県内の学級閉鎖等の状況は、第 6 週の集計で 285 施設 (第 5 週 377 施設)、欠席者数 3,315 人 (同 5,619 人) と今週は施設数、欠席者数ともに減少しましたが、昨年同期を大きく上回っている状況です。

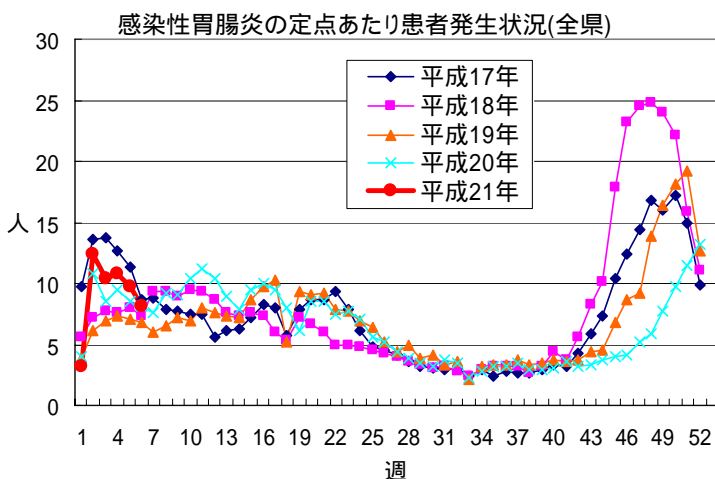
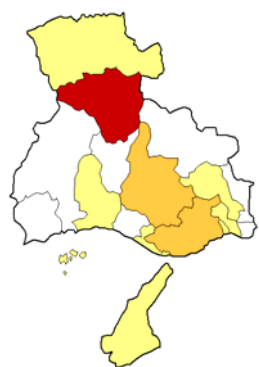
2 月 16 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 1,183 件、A/H3 (A 香港) 型 753 件、B 型 270 件となっていて、A/H1 (A ソ連) 型の検出数が半数以上を占めています。県内では A/H1 (A ソ連) 型 34 件、A/H3 (A 香港) 型 72 件、B 型 29 件が検出されていて、A/H3 (A 香港) 型の検出が最も多くなっています。



定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

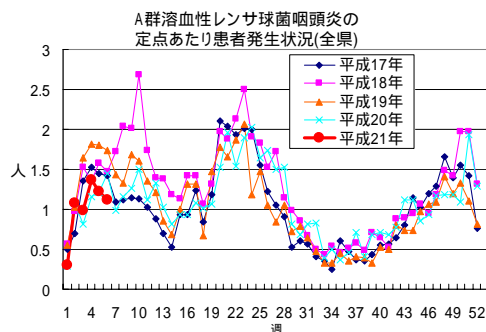
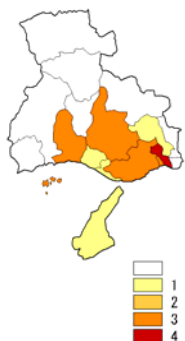
感染性胃腸炎

今週も患者数が減少しましたが、この時期インフルエンザに次いで患者数の多い感染症です。この時期はノロウイルスが病原体であることが多いと考えられますが、春に向かってロタウイルスも増加するといわれています。



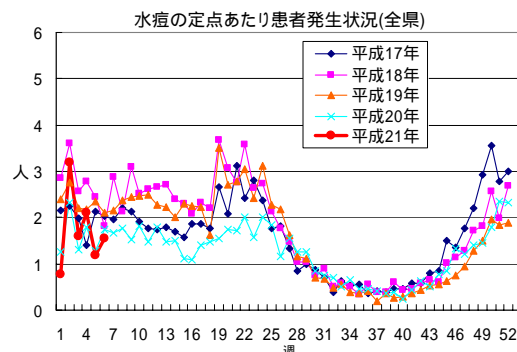
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2週連続で患者数が減少しましたが、冬から春にかけて患者数の多い時期となりますので注意が必要です。



水痘

今週、患者数が増加しました。例年6月頃まで患者数が多い状態が続きますので注意が必要です。



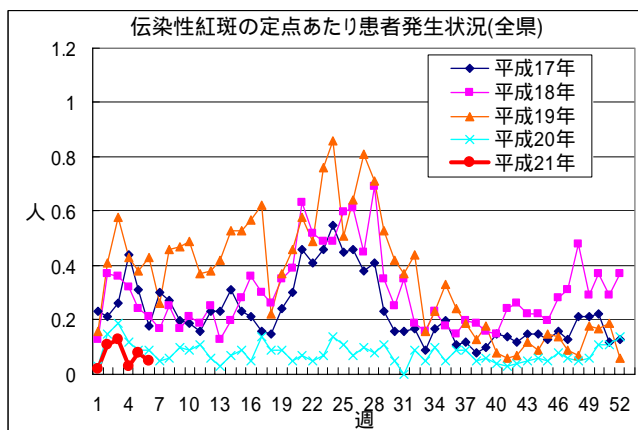
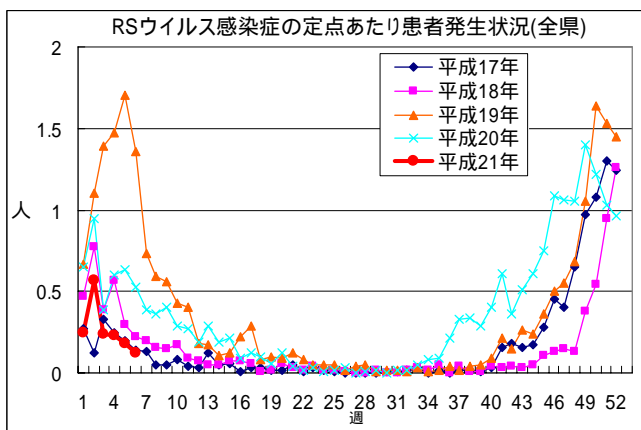
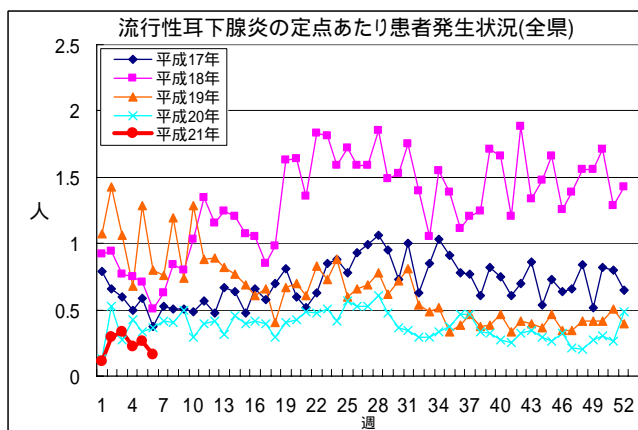
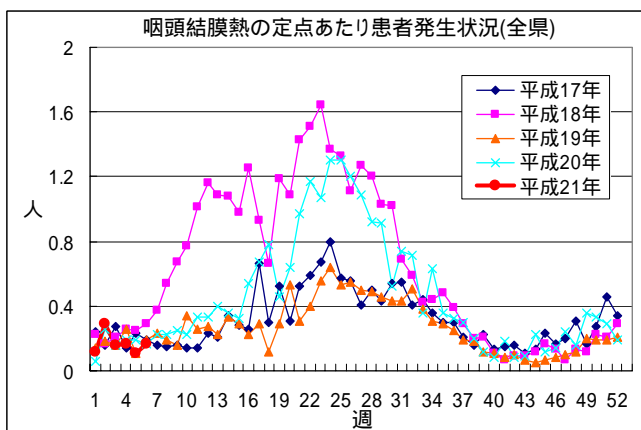
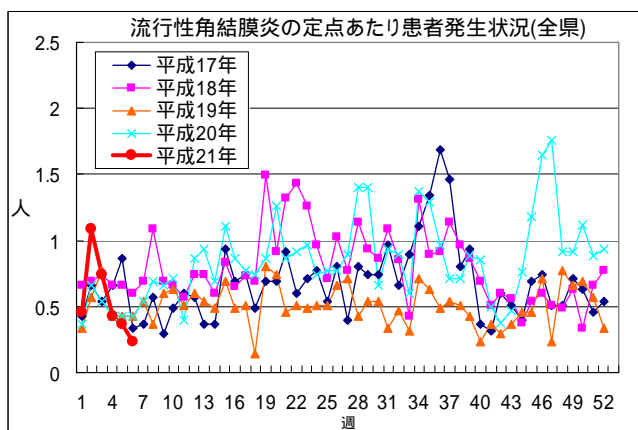
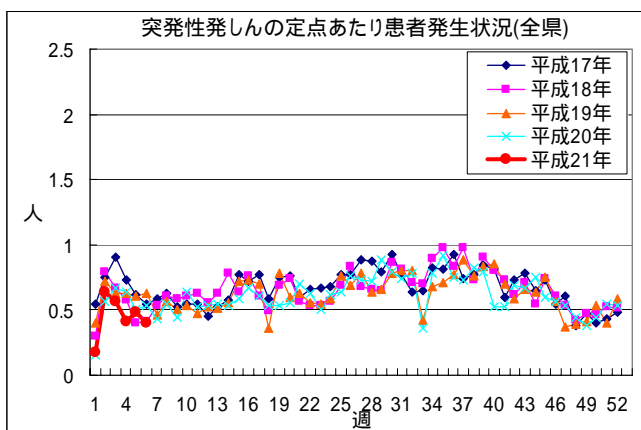
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	33.98	46.20	- 12.22	6位	流行性角結膜炎	0.23	0.37	- 0.14
2位	感染性胃腸炎	8.12	9.78	- 1.66	7位	咽頭結膜熱	0.17	0.11	+ 0.06
3位	水痘	1.55	1.19	+ 0.36	8位	流行性耳下腺炎	0.16	0.26	- 0.10
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	1.22	- 0.10	9位	RSウイルス感染症	0.12	0.18	- 0.06
5位	突発性発しん	0.40	0.48	- 0.08	10位	伝染性紅斑	0.05	0.08	- 0.03

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 17名 （神戸市4名、尼崎市3名、姫路市2名、芦屋保健所管内1名、明石保健所管内4名、龍野保健所管内1名、赤穂保健所管内1名、豊岡保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 7名 （尼崎市2名；第5週、姫路市2名；第5週、加古川保健所管内1名；第5週、赤穂保健所管内2名；第5週） 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名 （尼崎市；第1週）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。